

病害虫防除技術情報第 10 号

令和 2 年 1 月 22 日

三重県病害虫防除所

**暖冬により、多くのスクミリンゴガイの越冬が予想されます。
圃場を耕起して低温にさらし、貝を破碎して防除しましょう。
厳冬期が適期です。また、土が乾いて固く、破碎しやすくなります。**

1. 対象作物 水稻
2. 対象病害虫名 スクミリンゴガイ

3. 発生状況

令和元年産水稻は、スクミリンゴガイによる被害(食害による欠株)が急激に増加しました。低温に弱いスクミリンゴガイは、冬期の低温と田起こし(耕起)により、越冬中にその多くが凍死しますが、昨年以前に比較して本年は気温が高く(図 1)、越冬した貝による移植直後の食害増加が予想されます。

さらに、今後 1 か月は気温の高い確率が 70%(1 か月予報、令和 2 年 1 月 16 日、名古屋气象台発表)と暖冬年になる予報です。そのため、寒さに弱いスクミリンゴガイの越冬率が高くなり、令和 2 年産水稻の被害の増加が予想されます。

4. 防除対策

(1) 耕起による貝の破碎

本田でスクミリンゴガイは田面のヒビの中やわらの下にもぐりこんで、深さ 0~5 cm の浅い土の中で越冬します。水田の土が乾いて固くなる厳冬期に、①ロータリの尾輪を下げ耕起を浅くし、②回転数を上げ、③速度はゆっくり運転して耕起しましょう。

(2) 貝を掘り出して寒さにさらす

乾燥に強く、水がなくても半年以上生きますが、寒さに弱く-3℃でほとんどの貝が 2 日で死滅するとされています。そこで、耕起して貝を掘り出し、厳冬期の寒さにあてて越冬率を低下させましょう。

(3) 本田以外の越冬場所の管理

水の中は温度が下がらず越冬しやすくなります。特に、取水口を通して本田に侵入の恐れがある用水路では、貝の除去や泥あげを集落ぐるみで実施しましょう。

5. 防除上注意すべき事項

- (1) 耕起する時期が早いと、寒くなる前に地表面の貝を土中に埋め込み効果が低下します。
- (2) また、時期が遅いと温度が上昇し効果が低下します。低温が予想されるうちに耕起しましょう。

6. その他

詳しい防除対策について、三重県病害虫防除所のホームページ

http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/59482007443_00002.htmを参考にしてください。

キーワード、 三重県、 スクミリンゴガイ対策 で簡単に検索できます。

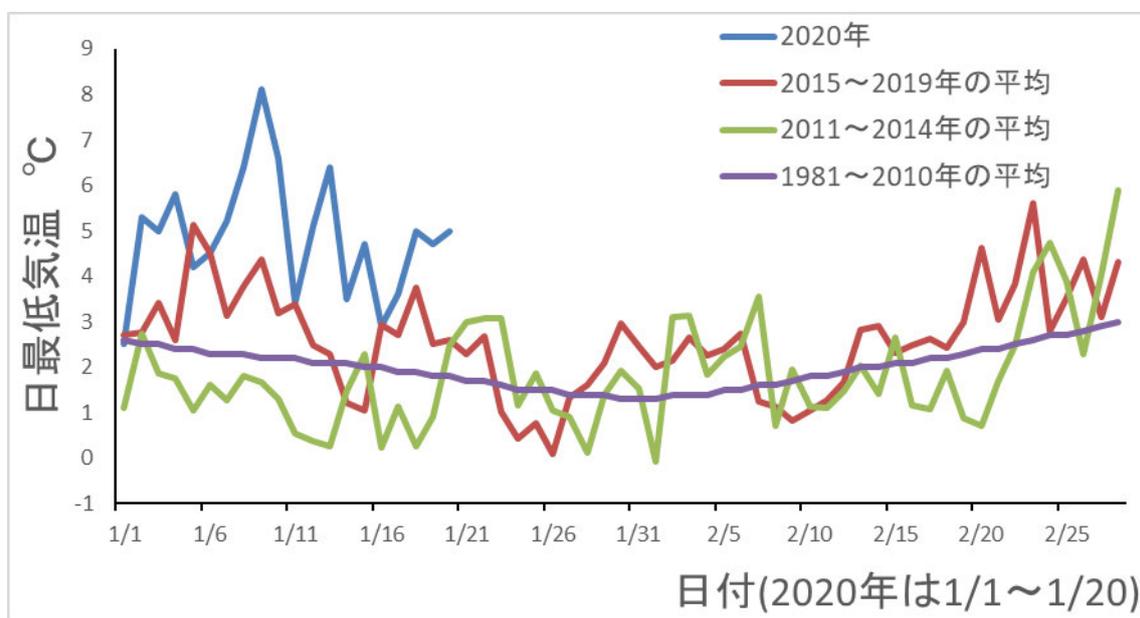


図1 年別の日最低気温（津市、1月～2月）

6. 問い合わせ先

三重県病害虫防除所

電話番号：0598-42-6365

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。